取扱説明書

ご使用になる前に

設置と接続

使い方

その他

デジタルコードレスサラウンドヘッドホンシステム

型名 HP-W1500

お買い上げありがとうございます。

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そしてお読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際はHP-W1500の製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているか、お確かめください。

主な特長

- 「非圧縮デジタル赤外線伝送方式＆高効率デジタルアンプ」採用で、入力から出力までフルデジタル伝送。光デジタル入力からアンプ出力段までを完全デジタル化。さらにデジタルアンプに専用の高精度マスタークロック採用により、極めてノイズが少なくクリアなサウンド再生を実現します。
- 映画や音楽など様々なソースを迫力の臨場感で楽しめる「ドルビーヘッドホン」技術搭載。
- ドルビーデジタル／ドルビープロロジックII／DTS／MPEG-2 AACの各サラウンドフォーマットに対応。
- パワフル＆ワイドレンジ大口径φ40mm高磁力ネオジウムドライバーユニット採用。
- DVDやデジタル放送チューナーなどを同時に接続できる光デジタル入力を2系統装備。
- 手持ちのポータブルオーディオ機器などの音声が手軽に楽しめる前面入力端子。
- リスニングポジションに余裕の赤外線到達距離約12m（正面）。
- 充電時充電池の取り外しが不要で、専用コードで簡単充電接続。
- ヘッドホンの電源の切り忘れにも対応するオートパワーOFF機能付き。
- トランスミッターの縦置き兼用のヘッドホンスタンド付属。
  ※縦置き用スタンドとして使用した場合、ヘッドホンスタンドとしてはご使用になれません。

もくじ

安全上のご注意

ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保管してください。

絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指を挟まれないよう注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠ 警告

■ 万一、次のような異常が発生したときは、そのまま使用しない。

- 煙が出ている、変なにおいがするなど異常のとき
- 内部に水や金属物が入ってしまったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コード（ACアダプター）が傷んだとき（芯線の露出、断線など）

このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。すぐに電源をOFFにし、必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

■ この機器を分解・改造しない。

故障、火災・感電の原因となります。

安全上のご注意(つづき)

■ **表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。**
故障、火災・感電の原因となります。

■ **ニッケル水素充電池、充電器の取り扱いについて。**
- 本機以外で充電をしない。
- プラス(+)とマイナス(−)の向きは、機器の表示のとおり正しく入れる。
- プラス(+)とマイナス(−)の端子をショートさせない。また金属性のネックレスやコインなどと一緒に携帯しない。
- 加熱したり分解しない。火の中に入れない。
- 外装チューブをはがしたり、傷をつけない。
- 火のそばや高温になる場所で使用したり充電しない。
- 充電中、発熱や変形その他、今までと異なることに気づいたら充電を中止する。
- 長時間使用しないときは、本体から取り出しておく。
- 新しい電池と一度使用した電池や、種類の違う電池を混ぜて使用しない。
- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、けがや周囲を汚す原因となります。万一、もれた液が体についたときは、水でよく洗い流してください。

⚠ 注意

■ **電源プラグ(ACアダプター)を抜くときは電源コードを引っ張らない。**
コードに傷がつき、火災・感電の原因となります。
必ず電源プラグ(ACアダプター本体)を持って抜いてください。

■ **ACアダプターの取り扱いについて。**
- この機器には専用のACアダプターをご使用ください。それ以外のものを使用すると、故障、火災・感電の原因となります。

- ACアダプターを布や布団でおおったり、つつんだりしないでください。熱がこもり、ケースが変形し、火災の原因となることがあります。風通しのよい状態でご使用ください。

■ **ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない。**
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

使用上のご注意

■ 直射日光やストーブのような熱器具の近くなど、高温になるところに放置すると、変形・変質をまねくため、ご注意ください。

■ 汚れがひどい場合は、中性洗剤などで拭き取ってください。シンナーやベンジンなどは、絶対に使わないでください。

■ イヤーパッドは通常の使用や保存状態でも、経年変化で自然劣化する場合があります。劣化時は早めにイヤーパッドの交換修理をお勧めいたします。

■ 充電池の充電は周囲の温度が10℃〜35℃の所で行なってください。

■ 充電池を長時間使用しないときは、充電池の性能劣化を防ぐために半年に1回以上充電して、本体から取り出しておいてください。

充電池のリサイクルについて

■ **付属の充電式電池にはリサイクル可能なニッケル水素充電池を使用していますので、ご使用済みの充電式電池は、貴重な資源を守るために破棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。(付属充電池の金属部分にテープを貼り、絶縁をしてお持ちください。)**

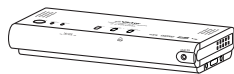
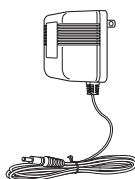
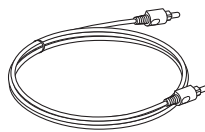
Ni-MH

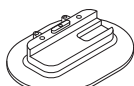
このマークはニッケル水素充電池のリサイクルマークです。

梱包内容の確認

付属の充電池はお買い上げ時には十分に充電されていません。お使いになる前に必ず充電を行なってください。**(☞12ページ)**

HP-W1500をお使いになる前に、付属品、添付物をお確かめください。万一不足しているものがありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店にご連絡ください。

ヘッドホン

トランスミッター

ACアダプター x 1

光デジタル接続コード（1.5m）x 1

単3形ニッケル水素充電池 x 2

ヘッドホンスタンド（縦置き用スタンド兼用）x 1

縦置き用スタンド取り付け用ネジ x 2

スタンド金具 x 1

取扱説明書 x 1　保証書 x 1　サービス窓口案内 x 1　クリーニングクロス x 1

デジタルサラウンドについて

ドルビーヘッドホンについて

ドルビーラボラトリーズが開発したヘッドホンバーチャル技術です。ドルビーデジタルやDTS、MPEG-2 AACなどのマルチチャンネル音声や、ドルビープロロジックIIでデコード処理されたステレオ音声まで、2chステレオヘッドホンでサラウンドシステムの立体音場を体感できます。

ドルビーデジタル*について

ドルビーラボラトリーズが開発したデジタルサラウンド方式の一つです。音質を損なうことなく音声データを圧縮し、DVDの標準音声フォーマットとして採用されています。

ドルビープロロジックIIについて

すべての2chステレオ音声を5.1chサラウンド再生するためのデコード技術です。

DTSについて**

デジタル･シアター･システムズ社が開発したデジタルサラウンド方式の一つです。音声圧縮率を低くしたフォーマットのため、音に厚みのあるノイズの少ない再生が可能です。

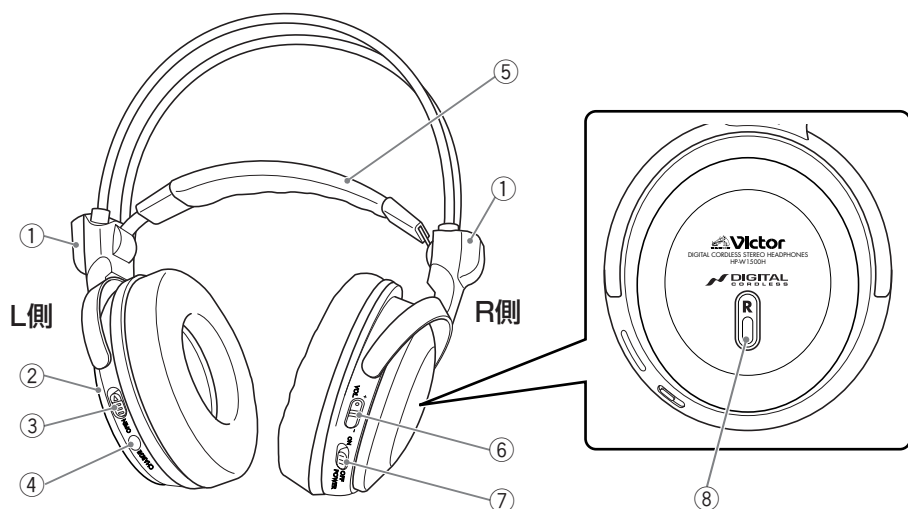
MPEG-2 AACについて

MPEG(Moving Picture Experts Group)が開発した音声圧縮方式の一つで、最大5.1chまで対応しています。高音質･高圧縮率を両立できるのが特徴で、BSデジタル放送や地上デジタル放送で採用されています。

AACパテントマーキング

Pat. 5,848,391; 5,291,557; 5,451,954; 5 400 433; 5,222,189; 5,357,594; 5 752 225; 5,394,473; 5,583,962; 5,274,740; 5,633,981; 5 297 236; 4,914,701; 5,235,671; 07/640,550; 5,579,430; 08/678,666; 98/03037; 97/02875; 97/02874; 98/03036; 5,227,788; 5,285,498; 5,481,614; 5,592,584; 5,781,888; 08/039,478; 08/211,547; 5,703,999; 08/577,046; 08/894,844; 5,299,238; 5,299,239; 5,299,240; 5,197,087; 5,490,170; 5,264,846; 5,268,685; 5,375,189; 5,581,654; 5,548,574; 5,717,821

各部の名称と働き

ヘッドホン

① **赤外線受光部**
左右にあります。

② **電池収納部**

③ **OPEN(オープン)スイッチ**
電池収納部のふたを開きます。

④ **CHARGE(充電)端子**
充電池使用の際、充電を行うときにトランスミッターの充電コードを接続します。
(☞12ページ)

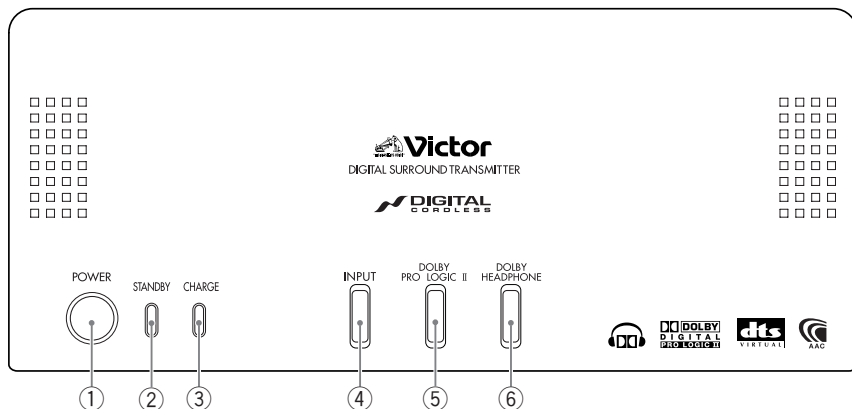
⑤ **フリーアジャストバンド**
頭に装着すると自動的にヘッドバンドの位置が調節されます。

⑥ **VOL(ボリューム)ボタン**
音量を調節します。押したままの状態にすると連続で調整できます。
注) ヘッドホンの音量は、前回電源を切ったときの音量になっています。入力ソースにより音量が異なります。装着する前に必ず音量を確認してください。

⑦ **POWER(電源)スイッチ**
ヘッドホンの電源をON/OFFできます。

⑧ **電源ランプ**
ヘッドホンの電源がONのときに点灯します。

各部の名称と働き(つづき)

トランスミッター天面

① **POWER(電源)ボタン**

トランスミッターの電源をON/OFF(スタンバイ)します。

充電池の充電中は、働きません。

② **STANDBY(スタンバイ)ランプ**

トランスミッターの電源をOFF(スタンバイ)にすると待機状態になり、点灯します。

③ **CHARGE(充電)ランプ**

充電池を充電中に点滅します。充電が終了すると点灯します。

④ **INPUT(入力切換え)ボタン**

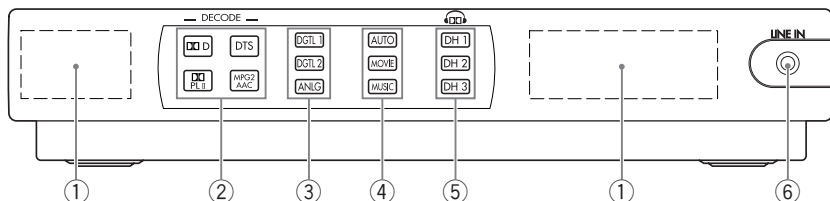
くり返し押して入力(DGTL 1/DGTL 2/ANLG)を切換えます。(☞14ページ)

⑤ **DOLBY PRO LOGIC Ⅱ(ドルビープロロジックⅡ)ボタン**

くり返し押してドルビープロロジックⅡのモード(AUTO/MOVIE/MUSIC/OFF)を切換えます。(☞15ページ)

⑥ **DOLBY HEADPHONE(ドルビーヘッドホン)ボタン**

くり返し押してドルビーヘッドホンのモード(DH 1/DH 2/DH 3/OFF)を切換えます。(☞15ページ)

トランスミッター正面

① **赤外線発光部**

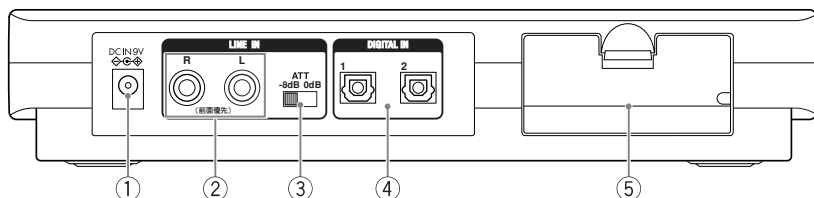
② **デコードモードインジケーター**
入力された音声信号を自動的に検知して、表示します。(☞15ページ)

③ **入力モードインジケーター**
入力切換え(INPUT)ボタンで選ばれた入力を表示します。(☞14ページ)

④ **ドルビープロロジックIIモードインジケーター**
選んでいるドルビープロロジックIIのモード(AUTO/MOVIE/MUSIC)を表示します。(☞15ページ)

⑤ **ドルビーヘッドホンモードインジケーター**
選んでいるドルビーヘッドホンのモード(DH 1/DH 2/DH 3)を表示します。(☞15ページ)

⑥ **LINE IN(ライン イン)(前面)端子**
アナログ信号の入力端子です。デジタルオーディオプレーヤーなどのアナログ音声出力端子と接続します。(☞10ページ)
注) LINE IN(前面)端子とLINE IN(背面)端子の両方に再生機器を接続している場合は、LINE IN(前面)端子に接続している再生機器が優先されます。(☞11ページ)

トランスミッター背面

① **DC IN 9V端子**
付属のACアダプターを接続します。
(☞10ページ)

② **LINE IN(ライン イン)(背面)端子**
アナログ信号の入力端子です。ビデオデッキなどのアナログ音声出力端子と接続します。
(☞10ページ)
注) LINE IN(前面)端子とLINE IN(背面)端子の両方に再生機器を接続している場合は、LINE IN(前面)端子に接続している再生機器が優先されます。(☞11ページ)

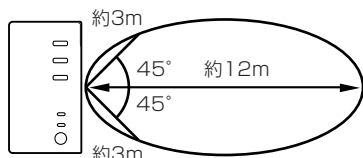
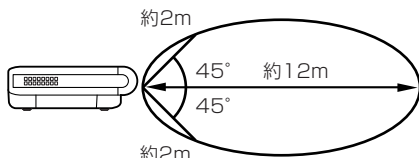
③ **ATT(アッテネーター)スイッチ**
LINE IN(背面)端子の音量を調整します。通常は「−8dB」にして使用します。
LINE IN(背面)端子に接続した機器からの音量が小さいときは、「0dB」に切換えてください。
注) ATTスイッチは、LINE IN(背面)端子に接続した機器からの入力のみに有効です。
注) 必ず接続機器の音量を小さくしてから切換えてください。
注)「0dB」で音がひずむときは、「−8dB」に切換えてください。

④ **DIGITAL IN 1/2端子**
光デジタル信号の入力端子です。DVDプレーヤーなどの光デジタル音声出力端子と接続します。
(☞10ページ)

⑤ **充電コード収納部**
ふたの内部に充電コードが入っています。ヘッドホンの充電池を充電するときに使用します。
(☞12ページ)

トランスミッターの設置

トランスミッターからの赤外線が届く範囲は、およそ下図のとおりです。
範囲内でヘッドホンが使用できるように、トランスミッターを設置してください。
赤外線が届かない場合、ヘッドホンにミュートがかかり音が出ません。

上から見た図

横から見た図

<ご注意>

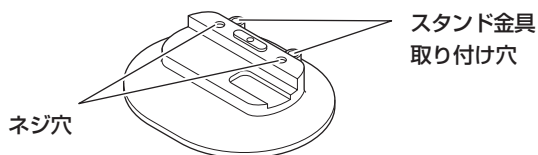
● 壁や不透明なガラスなどの障害物は赤外線を通しません。必ずトランスミッターが直接見える位置でお使いください。またプラズマディスプレイの近くでご使用になるなど、設置する部屋の条件によっては使用できる範囲が狭くなることがあります。
● トランスミッターは水平な場所に設置してください。また放熱孔をふさがないようにしてください。
● 赤外線発光部の明るさが均一でない場合がありますが、赤外線の届く範囲などの性能に影響はありません。

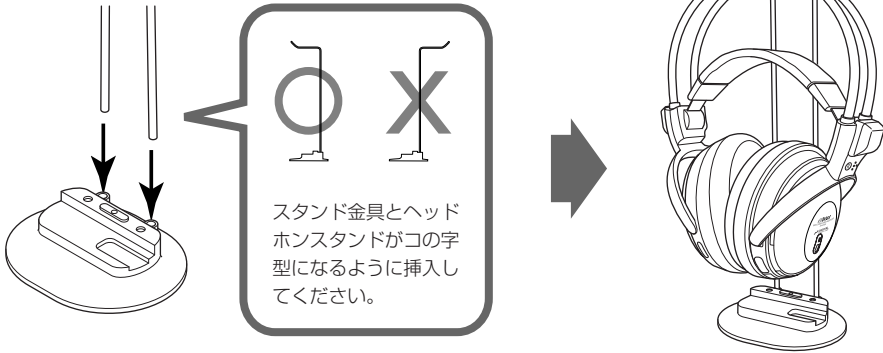
DIGITAL CORDLESS デジタルコードレスシステムについて

DIGITAL CORDLESS マークは当社のデジタルコードレスシステムマークです。
赤外線利用の光伝送システムは、その固有の特性から、ご使用の際には下記事項を参考にしていただき、最適なリスニング環境のもとで充分にお楽しみください。

● **太陽光に含まれる赤外線**:太陽光には、紫外線から赤外線を含め幅広い波長の光が含まれています。本システムが使用する赤外線もこの中に含まれており太陽光による影響を受けやすくなっています。屋外、窓ぎわ、サンルーム等、直射日光の当たる場所でのご使用は避けてください。
● **光の直進性**:光は障害物によって遮断されます。必ずトランスミッターを直接見通せる位置でご使用ください。
● **光の反射**:室内でも、採光が良く、壁･家具等が白色系統の場合、光の反射が生じ、雑音の原因になります。このような場合、トランスミッターとの距離を近づけ、影響を受けないような状態でご使用ください。
● **光の減衰**:光は光源から離れるに従い弱まります。本システムは、トランスミッターとヘッドホンの距離を中央で約12m以内として、最適なリスニングポジションでご使用ください。
● **外来ノイズ**:プラズマディスプレイの近くなど赤外線の影響を強く受ける場所に設置すると、音がとぎれる場合があります。また赤外線が届く範囲が狭くなります。

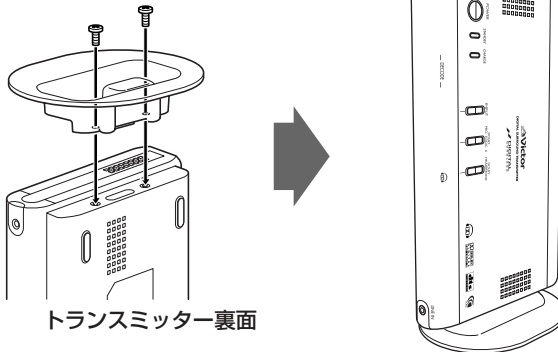
ヘッドホンスタンド(縦置き用スタンド兼用)を取り付ける

ヘッドホンスタンド(縦置き用スタンド兼用)にスタンド金具を取り付けてヘッドホンスタンドとして使用できます。また、付属のネジを使って、トランスミッター縦置きスタンドとしても使用できます。

ヘッドホンスタンドとして使用する場合

ヘッドホンスタンドのスタンド金具取り付け穴に、スタンド金具をしっかり差し込みます。

<ご注意>

- スタンド金具は一度挿入したら外さないでください。一度挿入したスタンド金具を引き抜くと、再び取り付けたときにスタンド金具の保持力が弱くなります。
- ヘッドホンスタンドは水平な安定した場所に設置してください。
- ヘッドホンを掛けるときは、スタンド金具が倒れないよう静かに掛けてください。乱暴な掛けかたをすると、ヘッドホンスタンドが倒れるおそれがあります。

トランスミッター縦置き用スタンドとして使用する場合

ヘッドホンスタンドとトランスミッターを付属のネジでしっかり固定します。

<ご注意>

- トランスミッターの縦置き用スタンドとして使用した場合は、ヘッドホンスタンドとしては使用できません。

接続のしかた

すべてのコードの接続が終わるまで、ACアダプターをコンセントに差し込まないでください。

家庭用コンセントへ

家庭用コンセント（AC 100V）

ACアダプター
（付属品）

DC IN 9V

LINE IN

R

L

ATT
-8dB 0dB

DIGITAL IN

1

2

オーディオ
コード（別売り）

光デジタル
接続コード
（付属品）

光デジタル
接続コード（別売り）

音声出力端子へ

ビデオデッキなど

デジタル音声出力端子へ

DVDレコーダー/プレーヤーなど

デジタル放送チューナーなど

トランスミッター前面

ポータブル機器のアナログ接続について

● ポータブル機器のステレオヘッドホン端子からトランスミッターのLINE IN(前面)端子/LINE IN(背面)端子に接続するときは、以下の接続コード等をお使いください。
LINE IN(前面)端子:ステレオミニプラグ↔ステレオミニプラグ(別売り)
LINE IN(背面)端子:ステレオミニプラグ↔ピンプラグx2(別売り)
● ポータブル機器のステレオヘッドホン端子からトランスミッターのLINE IN(前面)端子、またはLINE IN(背面)端子に接続しているとき、接続機器の音量が小さいとノイズが発生することがあります。

電源の接続について

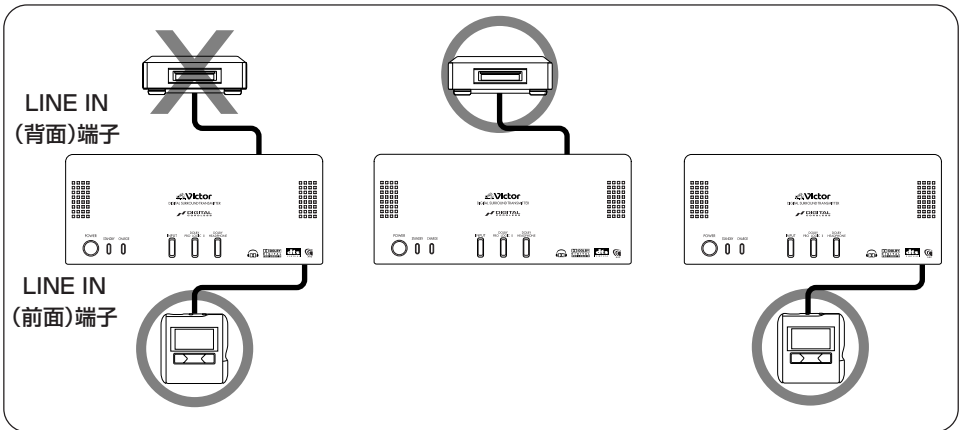
● ACアダプターは、一番最後に接続してください。
● ACアダプターは、家庭用AC100Vコンセントに接続してください。
● 他のACアダプターを使用すると故障や火災、感電の原因となります。必ず付属の専用ACアダプターをお使いください。
● 長時間お使いにならないときは、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

デジタル機器との接続

● 光デジタル接続コードは非常に精密に作られています。このため、コードを小さく(半径25mm以下)曲げたり、折ったりしないでください。また、外部からの力や衝撃に対して弱くなっておりますので、プラグを抜き差しするときは丁寧にお取り扱いください。
● HP-W1500のトランスミッターにはAC-3 RF端子が装備されていませんので、LDプレーヤーのAC-3 RF信号を直接入力することはできません。
● HP-W1500のトランスミッターのデジタル入力は、44.1kHzおよび48kHz以外のサンプリング周波数には対応していません。DVDプレーヤー側のデジタル出力に関する設定を48kHzにしてお使いください。また、BS放送のAモードやDATのLPモード(サンプリング周波数32kHz)のときは、アナログで入力してください。
● 2台以上の機器と接続するときは、別売りの光デジタル接続コードをお使いください。(XN-115SAなどの光角型)

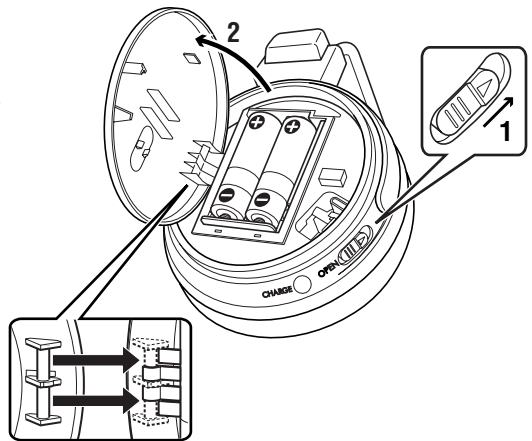
LINE IN(前面/背面)端子の優先順位について

● LINE IN(前面)端子とLINE IN(背面)端子の両方に再生機器を接続している場合は、LINE IN(前面)端子に接続している機器の音声が優先されます。
● LINE IN(背面)端子に接続している機器の音声を聞くときは、LINE IN(前面)端子には機器を接続しないでください。

設置と接続

充電のしかた

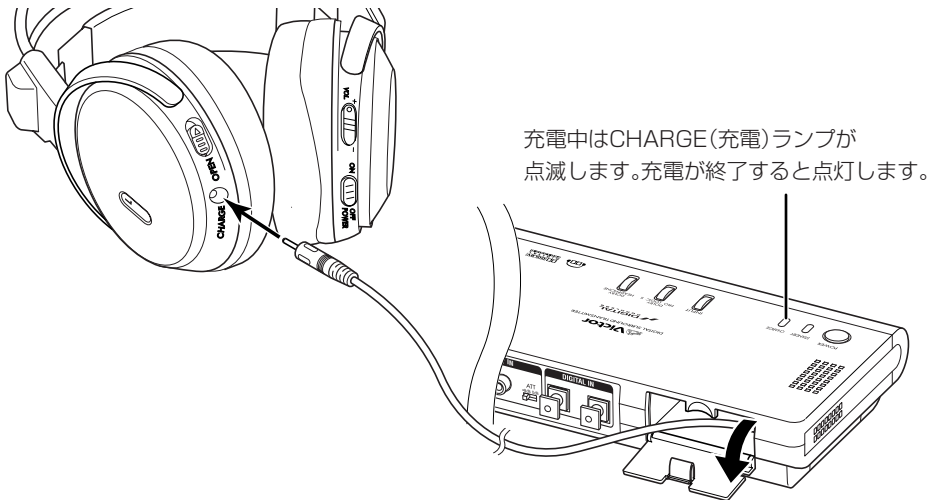
充電池の入れかた

1 ヘッドホンL側のOPEN(オープン)
スイッチを矢印の方向へ押し上げます。
2 電池収納部のふたを左側へ開きます。
3 極性表示(+と−)どおりに付属の充電池を
入れます。
4 ふたを閉めます。

・市販の単3形乾電池もご使用いただけます。
(付属の充電池以外は充電しないでください。)

注)電池収納部のふたは開くと外れます。
閉めるときは、結合部を右図のように
はめ込んでください。

充電のしかた

トランスミッターの充電コードをヘッドホンのCHARGE(充電)端子に接続するだけで簡単に充電が行なえます。

1 ACアダプターを家庭用ACコンセント(AC100V)に接続します。
2 ACアダプターをトランスミッターに接続します。
3 ヘッドホンの電源をOFFにします。
4 トランスミッター背面の充電コード収納部から充電コードを出し、ヘッドホンのCHARGE(充電)端子に接続します。(充電が開始されます。CHARGE(充電)ランプ点滅)
5 充電が終了したら(CHARGE(充電)ランプ点灯)、充電コードをヘッドホンから外します。

充電中は

● 充電中はトランスミッターの電源はOFF(スタンバイ)になります。充電後にトランスミッターを操作するときは、充電コードをヘッドホンから抜き、POWER(電源)ボタンを押して電源をONにしてください。
● CHARGE(充電)ランプの点滅中または点灯中はトランスミッターのPOWER(電源)ボタンは働きません。トランスミッターを使用するときは、充電コードをヘッドホンから抜いてください。
● 充電はヘッドホンのPOWER(電源)スイッチをOFFにしてから行なってください。充電中、POWER(電源)スイッチをONにするとヘッドホンは作動しますが、充電にかなりの時間がかかります。

電池の使用可能時間の目安

● 付属の充電池:約8時間の充電で、最大約16時間(使用頻度によって変わります。)
● 市販の単3形アルカリ乾電池*:約15時間
*お使いの乾電池によって使用可能時間は異なります。

使い終わったら

● 長時間使用したら、ヘッドホンのPOWER(電源)スイッチをOFFにして、充電してください。

こんなときには充電を…

● 音が出ないとき。
● ヘッドホンの電源がすぐ切れるとき。
● ヘッドホンの受信距離が短くなったとき。

充電池の寿命について

● 電池をあまり使用していない状態での充電をくり返すと、充電池の寿命が短くなります。できるだけ電池を使い切ってから充電してください。

充電池の交換について

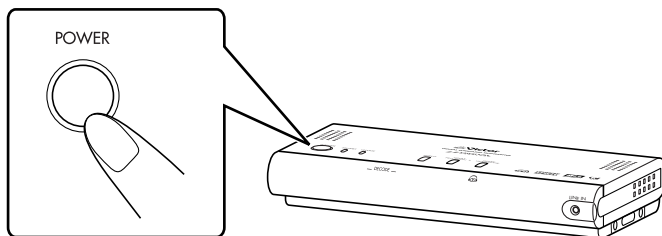
● 十分に充電しても使える時間が短くなったときは、充電せずに何度か音が出なくなるまで使用してから、もう一度充電してお使いください。使用時間が回復します。
● 上記の充放電を行なっても使える時間が通常の半分以下になったときは、充電池の寿命です。専用充電池の交換の際は、別紙のビクターサービス窓口案内をご覧のうえ、お近くのビクターサービスセンターにご相談ください。

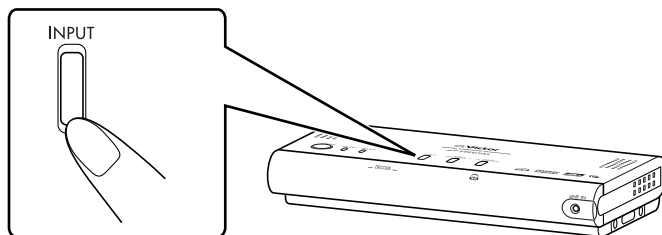
ヘッドホンのオートパワーOFF機能

● ヘッドホンの電池を長持ちさせるため、オートパワーOFF機能を装備しています。トランスミッターに音声信号が入らないと、おおよそ10分後にヘッドホンの電源が自動的にOFFになります。また、トランスミッターに信号が入っていても赤外線が届く範囲外にヘッドホンがあると、約7分後にヘッドホンの電源が自動的にOFFになります。もう一度電源をONにするには、ヘッドホンの電源スイッチをいったんOFFにし、約2秒後に再びONにしてください。
注)1 電源スイッチはオートパワーOFFの状態のまま放置せず、気がついたときには電源スイッチをOFFの位置にしてください。
注)2 トランスミッターは音声信号が約3分間入らない状態が続くと、赤外線出力が自動的に停止します。トランスミッターの電源はオートパワーOFF機能にはなっていません。

基本の操作

1 トランスミッターに接続した機器の電源を入れる。

2 トランスミッターの電源をONにする。

3 ヘッドホンの電源をONにする。（電源ランプ点灯）

4 INPUT(入力切換え)ボタンをくり返し押して、聴きたい機器を選ぶ。

選んだ入力のインジケーターを表示します。

DGTL 1 : DIGITAL IN 1端子に接続した機器を選んでいるときに点灯表示します。（初期状態）

DGTL 2 : DIGITAL IN 2端子に接続した機器を選んでいるときに点灯表示します。

ANLG : LINE IN（前面）端子/LINE IN（背面）端子に接続した機器を選んでいるときに点灯表示します。

注）入力切換えを行なったときにノイズが発生することがありますが、故障ではありません。

注）LINE IN（背面）端子に接続している機器の音声を再生する場合は、LINE IN（前面）端子には機器を接続しないでください。

5 接続した機器を再生する。

入力された音声信号に対応するデコードモードインジケーターが自動的に点灯表示します。

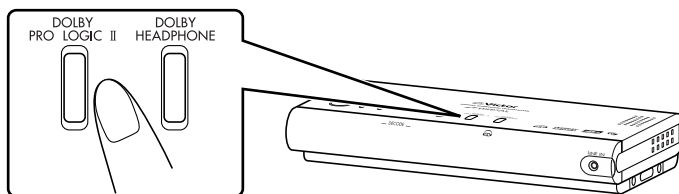
DD D: ドルビーデジタル音声が入力されているときに点灯表示します。

DD PL II: ドルビープロロジックII機能が働いているときに点灯表示します。また、入力信号のないときも点灯表示します。

DTS: DTS音声が入力されているときに点灯表示します。

MPG2 AAC: MPEG-2 AAC音声が入力されているときに点灯表示します。

6 ドルビーヘッドホンとドルビープロロジックIIのモードを選ぶ。

DOLBY HEADPHONE(ドルビーヘッドホン)ボタンとDOLBY PRO LOGIC II(ドルビープロロジックII)ボタンをくり返し押して、モードを選びます。

選んだモードのインジケーターが点灯表示します。

ドルビーヘッドホンのサラウンド効果

DH 1モード: ミキシングルームのような残響を抑えた空間を再現します。

DH 2モード: 適度に残響のある一般的なリスニングルームのような空間を再現します。(初期状態)

DH 3モード: 小規模な映画館やコンサートホールのような空間を再現します。

OFF: すべてのインジケーターが消灯し、ステレオ音声になります。また、ドルビープロロジックIIモードインジケーターもすべて消灯し、何も表示されません。

ドルビープロロジックIIのサラウンド効果

AUTOモード: 入力ソースによってMOVIEモードかMUSICモードが自動で選ばれます。(初期状態)

・デジタル入力で2chのDVDを再生したときはMOVIEモードが選ばれます。

・アナログ入力のときは入力ソースに関わらずMOVIEモードが選ばれます。

・デジタル入力でCD・MDを再生したときはMUSICモードが選ばれます。

MOVIEモード: 映画の再生に適したモードです。またドルビーサラウンドで記録された作品にも適しています。

MUSICモード: 音楽の再生に適したモードです。

OFF: すべてのインジケーターが消灯し、何も表示されません。

7 ヘッドホンの音量を調節する。

注)ヘッドホンの音量は、前回電源を切ったときの音量になっています。入力ソースにより音量が異なります。ヘッドホンを装着する前に必ず音量を確認してください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら修理に出す前に次の事をお確かめください。

症状	原因	対処
ヘッドホンの電源が入らない	充電されていない。	充電する。または新しい乾電池と交換する。
	オートパワーOFF機能が働いて電源がOFFになっている。	POWER（電源）スイッチをOFFにして、約2秒後に再びONにする。
トランスミッターの電源が入らない	ACアダプターが接続されていない。	ACアダプターの接続を確認する。
	充電コードがヘッドホンに接続されている。	ヘッドホンから充電コードを抜く。
音が出ない	充電されていない。	充電する。または新しい乾電池と交換する。
	接続機器が再生されていない。	接続機器の電源を入れ、再生を始める。
	ヘッドホンの電源がOFFになっている。	ヘッドホンの電源をONにする。
	ヘッドホンの音量が小さい。	ヘッドホンの音量を上げる。
	アナログ接続の場合、接続機器の音量が小さい。	接続機器の音量を上げる。
	DVDプレーヤー（ゲーム機を含む）のDTSデジタル音声出力設定が「OFF」や「切」の状態で、DTS音声で収録されたDVDを再生している。	DVDプレーヤーに付属の説明書をご覧になり、DTSデジタル音声の出力設定を「ON」または「入」に切換える。
	DVDプレーヤー（ゲーム機を含む）とトランスミッターをアナログ接続している状態で、DTS音声で収録されたDVDを再生している。	デジタル接続に変える。
	赤外線の届く範囲外でヘッドホンを使用している。	赤外線の届く範囲内で使用する。
	トランスミッターとヘッドホンの間に障害物がある。	障害物がないか確認する。 またはヘッドホンの赤外線受光部を髪の毛や手で覆っていないか確認する。
	トランスミッターをプラズマディスプレイの近くなどに設置している。	トランスミッターに近づいて使用する。
デジタル入力の音が出ないまたは音切れする	近くでドライヤーを使うなど、外部からの影響を受けている。	アナログ入力を使用する。
アナログ入力の音がひずむまたは雑音が出る	トランスミッターのATTスイッチが「0dB」に設定されている。（LINE IN（背面）端子に接続した機器のみ）	ATTスイッチを「－8dB」に切換える。
	接続機器の音量が大きい。	接続機器の音量を下げる。
アナログ入力の音が小さい	トランスミッターのATTスイッチが「－8dB」に設定されている。（LINE IN（背面）端子に接続した機器のみ）	ATTスイッチを「0dB」に切換える。
	接続機器のヘッドホン端子と接続した場合、接続機器の音量が小さい。	接続機器の音量を上げる。
雑音が多い	接続機器の音量が大きい。	接続機器の音量を下げる。
サラウンド効果が得られない	ドルビーヘッドホンモードがOFFになっている。	「DH 1」、「DH 2」、または「DH 3」に設定する。
	ドルビープロロジックIIモードがOFFになっている。	「AUTO」、「MOVIE」、または「MUSIC」に設定する。

症状	原因	対処
ドルビーデジタルの音声が聴けない	DVDプレーヤー(ゲーム機を含む)のデジタル音声の出力設定が「PCM」になっている。	DVDプレーヤーに付属の説明書をご覧になり、デジタル音声の出力設定を「Dolby Digital」に設定する。
	・ドルビーデジタルフォーマットで記録されていない信号を再生している。 ・現在再生しているチャプターの音声がドルビーデジタルの信号ではない。	ドルビーデジタルフォーマットで記録されたディスクまたはチャプターを再生する。
DTSの音声が聴けない	DVDプレーヤー(ゲーム機を含む)のDTSデジタル音声の出力設定が「OFF」や「切」になっている。	DVDプレーヤーに付属の説明書をご覧になり、DTSデジタル音声の出力設定を「ON」や「入」に切換える。
	DVDプレーヤーがDTSに対応していない。	DTSに対応したDVDプレーヤーで再生する。
	・DTSフォーマットで記録されていない信号を再生している。 ・現在再生しているチャプターの音声がDTSの信号ではない。	DTSフォーマットで記録されたディスクまたはチャプターを再生する。
MPEG-2 AACの音声が聴けない	デジタル放送チューナーのデジタル音声の出力設定が「PCM」になっている。	デジタル放送チューナーに付属の説明書をご覧になり、MPEG-2 AAC信号が出力されるように設定する。
ドルビープロロジックIIモードインジケーターが点灯しない	ドルビーヘッドホンモードがOFFになっている。	「DH 1」、「DH 2」、または「DH 3」に設定する。
	ドルビープロロジックIIモードがOFFになっている。	「AUTO」、「MOVIE」、または「MUSIC」に設定する。
充電できない	乾電池や付属以外の充電池が入っている。	付属の充電池を入れる。
	電池の向き(+と−)が間違っている。	電池を正しい向きで入れ直す。
	ACアダプターが接続されていない。	ACアダプターの接続を確認する。

増設ヘッドホンについて

本デジタルコードレスサラウンドヘッドホンシステムには、2人以上でお楽しみいただくためにヘッドホンのみを別売でご用意しております。

■ HP-W1500H　オープン価格

主な仕様 ※仕様および外観は改善のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

● 一般仕様

伝送方式: デジタル赤外線伝送
伝送帯域: 10Hz〜22,000Hz(サンプリング周波数48kHz時)
到達距離: 正面約12m

● 付属品・添付物

保証書 x 1
取扱説明書 x 1
サービス窓口案内 x 1
単3形ニッケル水素充電池 x 2(J47489-001)
専用ACアダプター x 1(J47488-001)
ヘッドホンスタンド(縦置き用スタンド兼用) x 1
縦置き用スタンド取り付け用ネジ x 2
スタンド金具 x 1
光デジタル接続コード(1.5m) x 1
クリーニングクロス x 1

● ヘッドホン(HP-W1500H)

型式: ダイナミック型
使用ユニット: 口径40mm
再生周波数帯域: 10Hz〜22,000Hz
電源: 専用ニッケル水素充電池(1.2V/2100mAh) x 2
または単3形乾電池(1.5V) x 2
電池持続時間: 専用充電池で約16時間(約8時間充電時)
アルカリ電池で約15時間
質量: 345g(専用充電池含む)

● トランスミッター

再生可能フォーマット:
ドルビーデジタル(ドルビーサラウンドEX)
ドルビープロロジックII
DTS(DTS-ES 6.1ch)
MPEG-2 AAC
PCM(Fs=44.1kHz、48kHz)
サラウンド機能:
ドルビーヘッドホン(DH 1/DH 2/DH 3)
ドルビープロロジックII(AUTO/MOVIE/MUSIC)
入力端子(前面): ステレオミニ x 1
入力端子(背面): 光角型 x 2、RCAピン x 1
電源: DC9V 800mA(専用のACアダプターを使用)
最大外形寸法:
幅 21.5cm x 高さ 4.3cm x 奥行 12.5cm
質量: 370g

保証とアフターサービス

● 保証書は必ずお受け取りください

この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

● 保証期間について

保証期間はお買い上げ日より1年間です。保証書の規定に従って、お買い上げ販売店にて修理させていただきます。その他詳細は保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料で修理いたします。

● 補修用性能部品の保有期間について

当社は、このデジタルコードレスサラウンドヘッドホンシステムの補修用性能部品を製造打ち切り後、8年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● 修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」の各項目をよくお読みのうえ、再度お調べください。それでも具合の悪いときは、お買い上げ販売店に次のことをお知らせください。

■ ビクターデジタルコードレスサラウンドヘッドホンシステム
　HP-W1500

■ お名前とおところ

■ 電話番号

■ 故障症状（詳しく）

なお修理のご用命の際は必ず本システム全体をご持参ください。

● アフターサービスについてご不明な点は

ご転居、ご贈答、その他アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店、または別紙サービス窓口案内をご覧のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社（以下、当社）にて、下記の通り、お取り扱いいたします。

- ●お客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- ●お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間、保管させていただきます。
- ●次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
  ①上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
  ②法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- ●お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

お買い物相談や製品についての全般的なご相談
お客様ご相談センター

携帯電話・ＰＨＳ・ＦＡＸなどからのご利用は

電話 (045) 450－8950
FAX (045) 450－2275

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

● ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについては、19ページをご覧ください。

ビクターインターネットホームページアドレス　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社
AV＆マルチメディアカンパニー
〒221-8528　神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

LNT0053-001A